



火災予防ニュース

第14号 令和元年12月10日 苫小牧市消防本部予防室発行

『歳末の火災予防運動』

今月12日（木）から22日（日）にかけて、歳末火災予防運動を実施します。歳末期においては、家庭での火気使用の増加及び集客施設の混雑など火災による人命危険の増大が見込まれ、火災予防の啓発活動を実施し、火災のない安全安心な苫小牧を目指すものです。



- 1 12日（木）啓発活動のため歳末地域安全運動市民パレードに参加します！
- 2 20日（金）錦町及び大町の飲食店を対象に、防火パトロールを実施します！
- 3 期間中、市内の集客施設や飲食店などの防火査察を実施します！

今年の苫小牧市の火災状況（1月1日～11月30日）

令和元年も残りわずかとなりましたが、火災発生件数は昨年1年間の総数の13件増となっており、過去10年間をみても平成28年の74件に続く記録となっています。

今年の特徴は、放火（疑い含む）が全体の23%となり、火災件数は増加しているものの、火災による死者数は“ゼロ”であり、過去10年間をみても死者の発生がゼロという記録はありませんでした。

これから年末にかけて寒い日が続き暖房器具等の使用も継続されると思いますが、今一度身の回りの点検をして火災の無い新年を迎えましょう。

	原因	件数		備考
1	放火（疑い含む）	14件	23%	
2	電気機器等（配線等含む）	7件	12%	
3	ストーブ	4件	7%	
火災発生件数「総数」		60件		（その他・不明・調査中含む）

10年たったら、
とりカエル。



住宅用火災警報器は正常に作動していますか？

- 住宅用火災警報器は設置から10年が使用期限の目安になります。
- 定期的に作動確認を行い異常の有無を確認してください。
- 電池切れや故障の場合はすぐに新品に交換してください。